



## ○3月13日(金) 第3回学校運営協議会○

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。

●第3回である今回は、以下の討議を行いました。

Ezo 探究 festival



### ① MA+CHプロジェクトについて

指定2年目を迎えた今年度、本協議会の実行部隊として取組を進めてきました。事務局から今年度の反省、来年度の取組が報告されました。討議では、1年生がテーマ決定のために行う「ヒアリング」について意見が交わされました。清里高校にとって「総合的な探究の時間」の充実が学校魅力化の中心であることが確認され、委員からは「生徒の主体的な動きをどう創り出すことが大切だ」と意見が出されました。

### ② 令和8年度学校運営方針について

校長から、令和8年度学校経営方針とグランドデザインが説明され、承認されました。

### ③ 学校自己評価に係る学校関係者評価

【委員から出された意見】

#### ■学習指導について

- ・教員の自己評価が低いが、その評価が上がらないと課題解決にならないのではないかな。
- ・全職員で意識を共有することが大切だ。
- ・学習意欲を持たせるための教育環境が大切だ。公設塾など、環境をどうしていくか、この場でも検討する必要がある。
- ・学校の魅力化として、「国際理解・英語教育」を充実させてほしい。

#### ■生徒指導・特別活動について

- ・地域と学校が一体となった行事が必要ではないかな。

#### ■進路指導について

- ・高校生なりのインターンシップがあっても良い。

#### ■健康安全について

- ・心身を鍛える行事に参加することで、町民にアピールすることも必要ではないかな。

#### ■学校運営について

- ・保護者アンケートは厳しい意見もあり、保護者と学校運営協議会の話し合いの場を設けるなど、横の連携を深め、目標や課題を共有するべきではないかな。
- ・保護者と教員の距離が遠いことで、学校に対する理解が進まないのではないかな。
- ・保護者の支部活動が盛んだった時代が過ぎ、難しいとは思いますが、情報発信をしっかりと行うことで学校の教育活動への参画がおもしろいことを理解してもらうことが必要だ。
- ・集会などに人が集まらなくなっている。あきらめず、スクラムを組める仲間を少しでも多くする工夫をしていくことで、保護者と教員の距離を縮めるべきである。

### ④ 学校運営協議会の在り方について

- ・持続可能なものにする、清里町の学校運営協議会と連携することを前提にするのであれば、学校運営協議会は重要事項を決定し、コンソーシアムに助言をするような機関とすることがよい。
- ・学校運営協議会のメンバーもコンソーシアムに参加するなど工夫を図るのが良い。コンソーシアムに教員はもちろん、保護者に参加してもらうのがよい。
- ・清里町の学校運営協議会と合同の会議を実施し、連携を図っていきたい。教育委員会を中心に実現を進めたい。